

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび下記項目につきまして検査内容を変更させていただくこととなりましたので、ご案内申し上げます。

何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

(記)

■ 変更内容一覧

令和5年3月31日(金) 受付分より

コード	項目名称	変更箇所	新	旧	備考
571	マグネシウム(Mg) (尿)	検体量	尿 0.5mL	尿 5.0mL	※1
883	クロナゼパム	検査方法 検体量 報告下限 報告上限 所要日数	LC-MS/MS 血清 0.5mL 2.0 以下 ng/mL 9999000.0 以上 ng/mL 4~5 日	HPLC 血清 1.5mL 2.0 未満 ng/mL ∞ ng/mL 2~5 日	※2 ※3
440	クロバザム	検査方法 検体量 保存方法 報告下限 報告上限 報告桁数 所要日数	LC-MS/MS 血清 0.5mL 冷蔵 クロバザム: 20.0 未満 ng/mL デスメチルクロバザム: 50.0 未満 ng/mL クロバザム: 9999000.0 以上 ng/mL デスメチルクロバザム: 9999000.0 以上 ng/mL 小数 1 位 4~5 日	HPLC 血清 1.5mL 凍結 クロバザム: 10 未満 ng/mL デスメチルクロバザム: 10 未満 ng/mL クロバザム: ∞ ng/mL デスメチルクロバザム: ∞ ng/mL 整数 2~8 日	※2 ※3
177	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	検査方法	ECLIA[新試薬]	ECLIA	※4
2032	プレグナンジオール(P2)	検査方法 検体量	LC-MS/MS 蓄尿 2.0mL	GC-MS/MS 蓄尿 5.0mL	※5
2033	プレグナントリオール(P3)	検査方法 検体量	LC-MS/MS 蓄尿 2.0mL	GC-MS/MS 蓄尿 5.0mL	※5
790	インスリン抗体	報告書項目名 検査方法 報告成分 基準値 単位 報告下限 報告上限 報告桁数	インスリン抗体 RIA[新試薬] 濃度 0.4 未満 U/mL U/mL 0.4 未満 U/mL 50.0 以上 U/mL 小数 1 位	インスリン抗体(RI) RIA 結合率・濃度 ¹²⁵ I-insulin 結合率: 0.4 未満 % 濃度 :125 未満 nU/mL 結合率:% 濃度 :nU/mL 結合率:0.4 未満 % 濃度 :125 未満 nU/mL 結合率:90.0 以上 % 濃度 :5000 以上 nU/mL 結合率:小数 1 位 濃度 :整数	※6

※1. 検体量の見直し

※2. 最終委託先の変更(シー・アール・シー久留米研究所 → LSIメディエンス)

※3. 令和5年2月21日受付分より一時的に変更しておりましたが、期日より完全変更

※4. ビオチン干渉を改良した試薬に変更

※5. 検査方法の変更

※6. 現行試薬の販売中止

No. 23-07

令和5年3月31日(金) 受付分より

コード	項目名称	変更箇所	新	旧	備考
820	エリスロポエチン(EPO)	保存方法	冷蔵	凍結	※7
537	ムンプスウイルス IgG	検査方法	EIA[新試薬]	EIA	※8
503	HCV群別(HCVセロタイプ)	検査項目名 報告書項目名	HCV群別[グループベング] HCV群別	HCV群別(HCVセロタイプ) HCVセロタイプ	※9
352	クロストリジオイデス・デフィシル 毒素検出	検査項目名 報告書項目名 検査方法 報告成分 基準値	クロストリジオイデス・デフィシル GDH抗原・毒素検出 Cデフィシル抗原・毒素 イムノクロマトグラフィー法 GDH抗原・毒素 GDH抗原:(-) 毒素:(-)	クロストリジオイデス・デフィシル 毒素検出 C・デフィシル毒素検出 EIA 毒素 (-)	※10

※7. 保存方法の見直し

※8. 現行試薬の販売中止

※9. 最終委託先の項目名称に準拠

※10. 最終委託先の受託中止

令和5年4月1日(土) 報告書発行分より

コード	項目名称	変更箇所	新	旧	備考
669	Gバンド分染法	検査項目名	G分染法	Gバンド分染法	
4011	Qバンド分染法	検査項目名	Q分染法	Qバンド分染法	
4013	Cバンド分染法	検査項目名	C分染法	Cバンド分染法	
4014	Rバンド分染法	検査項目名	R分染法	Rバンド分染法	
4016	BCR-ABL1 (フィラデルフィア染色体)	検査項目名	BCR::ABL1 (フィラデルフィア染色体)	BCR-ABL1 (フィラデルフィア染色体)	

■ 検査受託中止一覧

令和5年3月30日(木) 最終受付

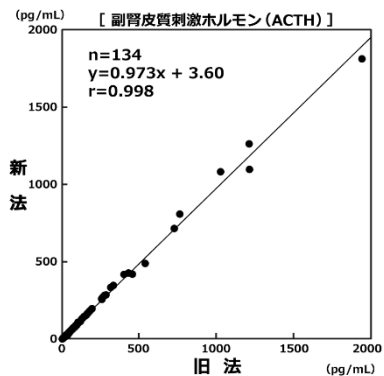
コード	項目名称	中止理由	備考
2028	17-ケステロイド分画(17-KS分画)3分画	測定材料が入手困難のため	
2029	17-ケステロイド分画(17-KS分画)7分画		
2030	ステロイド10分画		
2275	単純ヘルペスウイルス(HSV)-DNA同定	受託数僅少のため	
2277	水痘・帯状ヘルペスウイルス(VZV)-DNA同定		
2098	サイトメガロウイルス(CMV)-DNA同定		
2805	HBVプレコア/コアプロモーター変異検出		
4012	脆弱X染色体		

令和5年3月31日(金) 最終受付

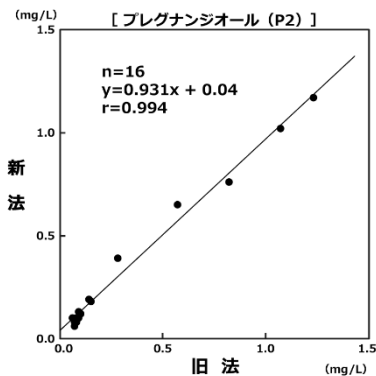
コード	項目名称	中止理由	備考
508	ベンス・ジョーンズ蛋白定性	受託数僅少のため	※11

※11. 代替項目:[771]尿中免疫電気泳動(ベンス・ジョーンズ蛋白同定)

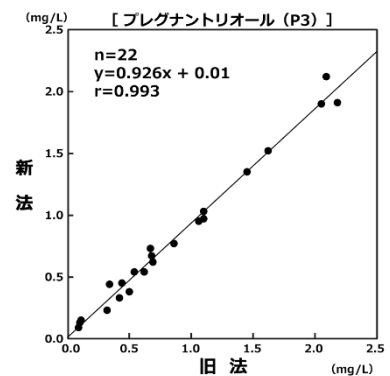
■ 新旧二法の相関



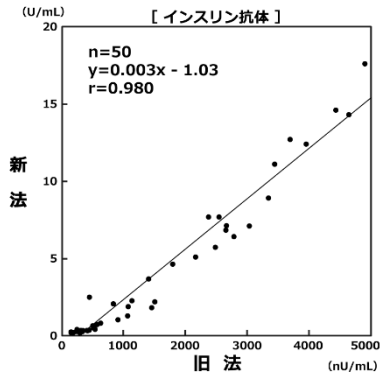
(委託先検討データ)



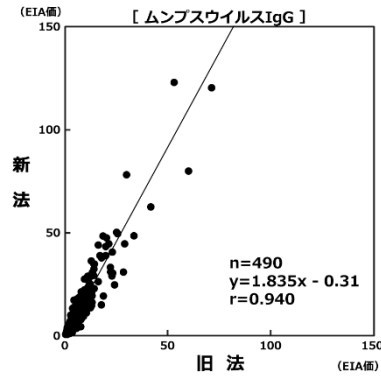
(委託先検討データ)



(委託先検討データ)



(委託先検討データ)



(委託先検討データ)

判定一致率

		旧法			計
		陽性 (+)	判定保留 (±)	陰性 (-)	
新法	陽性 (+)	282	104	0	386
	判定保留 (±)	2	30	26	58
	陰性 (-)	0	4	42	46
計		284	138	68	490

陽性一致率:99.3% (282/284)

陰性一致率:61.8% (42/68)

判定一致率:72.2% (354/490)

(委託先検討データ)

参考文献

- インスリン抗体……………内潟安子, 他: 医学と薬学 65(4): 525-530, 2011.
- ムンプスウイルスIgG……………尾崎隆男, 他: 臨床とウイルス 50(3): 129-133, 2022.
- ……………尾崎隆男, 他: 臨床とウイルス 47(5): 420-426, 2019.
- クロストリジオイデス・デフィシル……………西尾美津留, 他: 医学検査 63(5): 635-639, 2014.
- GDH抗原・毒素検出……………日本化学療法学会・日本感染症学会: Clostridioides difficile 感染症診療ガイドライン 2022.

以上